

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）をご予約の方へ

安全に検査を受けていただくために下記の内容をご理解くださいますようお願いいたします。

内視鏡検査の危険性については、別紙 **上部消化管内視鏡検査同意書**をご確認ください。

体調不良など安全な実施が困難と判断した場合は、検査を中止することがあります。

血圧180/110以上の方、胸腹部大動脈瘤があり主治医の許可がない方は、胃カメラの検査はできません。

◆投薬治療中およびサプリメントを常用している方への注意事項

抗血栓薬およびDHA・EPA・オメガ3を含むサプリメント

- ・ **休薬が必要です。休薬期間については、別紙をご確認ください。**
- ・ 粘膜の一部を採取する組織検査を実施した場合、さらに検査日を含む5日間の休薬が必要です。
- ・ 都合により休薬できない場合は、経口内視鏡検査による観察のみ実施します。

糖尿病の治療薬

- ・ 糖尿病の薬を内服している方、インスリン注射をしている方は、**検査当日の朝は中止**してください。

降圧剤・抗不整脈剤・精神科や心療内科の治療薬

- ・ **検査当日の朝早めに内服**してください。血圧が高い場合、検査を中止することがあります。

◆飲食に関する注意事項

- ・ 食事は前日の午後9時までに済ませてください（夜間の水・お茶は可）
- ・ 起床時にコップ1杯程度の水・お茶は飲んでいただいて構いません。

◆その他の注意事項

下記の項目に該当する方は主治医にご相談ください

- ・ 口、鼻、のど、食道、胃、十二指腸の治療中の方
- ・ 狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈などの心臓疾患の方
- ・ 呼吸不全を生じるような呼吸器疾患の方
- ・ 脳卒中やてんかんなど脳の疾患の方
- ・ 大動脈瘤、脳動脈瘤などで経過観察中の方（主治医の許可がない場合は実施できません）
- ・ 大きな手術・治療を受けてから1年以内の方

下記の項目に該当する方は経鼻内視鏡検査を実施できません

- ・ のどや鼻に疾患のある方
- ・ 血小板減少症や肝臓疾患などで血が止まりにくい方
- ・ **抗血栓薬などが既定の期間中止できない方**

◆検査の方法

経口内視鏡検査

1. 胃の中を観察するために液状の薬を飲みます。検査直前に、のどに麻酔薬をスプレーします。
2. マウスピースをくわえて、口から内視鏡を挿入し、上部消化管を観察します。
3. 必要に応じて粘膜の一部を採取し、顕微鏡検査を実施します。

経鼻内視鏡検査 ※内視鏡が挿入できない場合は経口法に切り替わることがあります。

1. 鼻に血管収縮剤をスプレーします。胃の中を観察するために液状の薬を飲みます。
2. 鼻から麻酔薬を注入したのち、チューブを挿入し留置します。
3. チューブを抜去したのち鼻から内視鏡を挿入し、上部消化管を観察します。
4. 必要に応じて粘膜の一部を採取し、顕微鏡検査を実施します。

◆生検（組織検査）をした場合

- ・ 加入している健康保険や採取したポリープの個数により変動しますが、検査を行った場合は **1,500円～6,500円**ほどの費用が発生します。（保険適用）

【お問い合わせ先】 中日病院健診センター